

自ら始める「職場の心理的安全性

(働きやすさ)づくり」トレーニング研修

と き

2026年 10月 15日(木) 9:30~16:30

開催形式

中産連ビル 研修室 (名古屋市東区白壁3-12-13)



ご参加
いただきたい方

●すべてのビジネスパーソン

※その中でも特に、

- ① “わかる”よりも“できる”を優先した心理的安全性(働きやすさ)をつくる力を身につけたい方
- ② リーダーではなくても、心理的安全性の高い(働きやすい)チームをつくる力になりたい方
- ③ 自分の力で実践できる心理的安全性(働きやすい)の高い職場をつくる力とスキルを身につけたい方

自らの手でモチベーションと生産性が高い“持続可能な職場(チーム)”をつくる！

- ✓ 職場(チーム)のメンバー1人1人が“自由闊達に話し合える”
- ✓ あるメンバーが大変な時に、チーム(部署)のメンバー1人1人が“助け合う”ことができる
- ✓ 職場(チーム)内に“挑戦を尊ぶ風土”があり、減点評価ではなく加点評価の文化で行動している
- ✓ チームや会社のことを真剣に考えての発言であれば“変わった発言をしても歓迎して受け入れている”

皆さんが働いている職場(チーム)は上記の4点を満たしているでしょうか？

もしそうでない場合は、皆さんの「職場の心理的安全性」は残念ながら高い(働きやすい)とは言えない状態です。

「職場(チーム)の心理的安全性」が低いと、モチベーションの低下、他罰的な言行、ハラスメント行為、メンタルヘルスの低下はもちろん、チームの生産性・創造性の低下、業績の悪化など、職場の存亡の危機につながる様々な悪い弊害が生まれてしまいます。

とはいえ、「職場の心理的安全性(働きやすさ)」を高めても、それは単なる“ゆるい職場”にすぎず、モチベーションやチームの生産性が上がるのかどうか疑問に思うかもしれません。

しかし、人間は本質的にはより良い職場環境で1分でも長い時間を過ごしたいと考える生き物です。

良い職場環境というのは、職場(チーム)のメンバー1人1人がありたい姿に向かって日々成長し、閉塞感を感じることなくハツラツと元気に働くことができる環境であり、そのためには「仕事に求める基準に一定レベルの高さ」が求められます。

その上で、「職場に心理的安全性(働きやすさ)」がつくられていくとモチベーションや職場(チーム)全体の生産性向上につながっていくのです。

◆ 職位に関係なく「職場の心理的安全性(働きやすさ)」をつくる“実践に直結した力とスキル”が身につく！

本研修では、心理的安全性の高い職場(チーム)をつくる力になりたい方のために、

- ① 冒険教育による実用的な教育手法で「心と身体を使って「職場(チーム)の心理的安全性(働きやすさ)」とは何かを体感”する
- ② 「職場(チーム)の心理的安全性(働きやすさ)」をつくるために、メンバーの1人として“必要な姿勢とスキル”を実践を通して身につける
- ③ 「職場(チーム)の心理的安全性(働きやすさ)」をつくるための“メンバー1人1人との関係性の作り方”を身につける

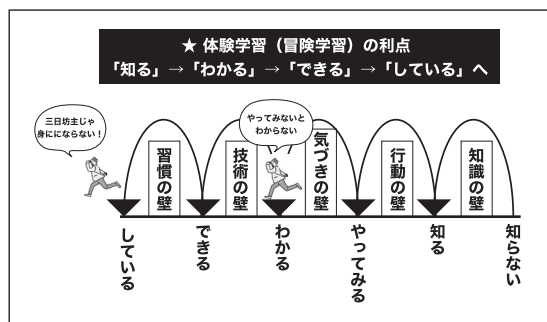
以上の3点を目的として、すべてのビジネスパーソンが「職位に関係なく」自ら心理的安全性(働きやすさ)をつくる担い手としてはじめの一步が踏み出せる力を身につけます。

また、本研修は一般的な座学と違って体験による学びを重視しており、

- ・ 「知る→わかる→できるの違い」をリアルに体感できる
- ・ “わかったつもり”に陥らないように頭で理解したことを模擬実践する
- ・ 職場(チーム)に戻ってからの「行動の壁」を超える実用的な練習をする

ことにより、座学の研修と比較して“実践できる気持ち”が研修中に生まれてきますので、実践へのハードルを大きく下げることができます。

職位に関わらず自分の力で少しでも「職場(チーム)の心理的安全性(働きやすさ)」をつくる“実践に直結した力とスキルを身につけたい方”はこの機会にぜひご参加ください。



◆研修プログラム（ 9:30～16:30 ）		★本研修は講師を貴社に派遣して行う「企業内研修」も対応可能です
1. オープニング 講義・体験学習 ・ 体験学習による学びが持つ意味 ～効用と実践 ・ 体験学習による学びの利点 ～わかるとできるの隔たりを超える		(2)成功するチームには段階ごとにパターン(型)がある ① リーダーは「課題の達成」を観るべきか？ それとも「メンバーの様子」を観るべきか？ ② 実際、普段の自分はどちらに比重を置いて観ているか？ (3)真に求めるべきは「方法・手段・しくみ」か？それとも「メンバーの気持ち」か？ (4)チームとメンバーの心理的安全性を上げるために1人1人が発信したいもの
2. 職場における心理的安全性とは 講義 (1)心理的安全性の高い職場に現れる特徴 (2)心理的安全性の高い職場が持つ7つのメリット		4. 自分の職場で心理的安全性をつくる アクションプラン作成 (1)ここまでの気づきと学びを整理する (2)気づきと学びを総動員して、職場に戻ってから何をどうするのかを決断する
3. 自分にとっての心理的安全性を言語化する 講義・体験学習 (1)体験学習で「心理的安全性の高いチーム」を体感する ① 主体性が自然に生まれるチーム ② 信頼関係による心地よさが生まれるチーム ③ 同じ目的に向かって進んでいく高揚感と一体感のあるチーム		5. 講師からのメッセージ ・ 心理的安全性にあふれた職場をつくるために大切にしてほしいこと

講 師
中産連パートナー講師（組織開発トレーナー） 不登校生徒(児童)や保護者の相談員を経て、野外教育活動におけるファシリテーションを学び、研修会社を経て独立。組織におけるファシリテーションを主目的としたNPO法人を設立し代表理事を務める。心理学をベースにした体験型学習を専門領域とし、主に野外においてアドベンチャー教育、チームビルディング、リーダーシップ、個人&集団型のカウンセリング、メンタルトレーニングを行う。また2023年3月まで、NPO法人のバスケットボールクラブの理事としても法人の運営に携わり、バスケの指導、コーチの育成に携わった。近年では、企業において、組織開発(文化風土改革)、チームビルディング、次世代リーダー養成、カウンセリングセッションを行う機会が増えている。

【2026年度】自ら始める「職場の心理的安全性(働きやすさ)づくり」トレーニング研修（10/15）参加要項／参加申込書

参加費（1名様）	【中 産 連 会 員】36,300円(消費税込) 【中産連会員外】41,800円(消費税込)
申 込 方 法	①下記申込書に必要事項を記入の上、切り取らずにFAXにてお送りください。 中産連ホームページの各セミナー詳細からもお申込み可能です。（ https://www.chusanren.or.jp ） 申込みが完了しますと、申込責任者のメールアドレスに「申込完了メール」が届きます。 ②受講票と請求書を開催日の約2～3週間前に申込責任者宛へ郵送します。 ※コンサルタント及び教育機関の方のお申し込みはお断りしております。ご了承ください。
キャンセルについて	お客様のご都合によりキャンセルされる場合には、以下のキャンセル料を申し受けます。 開催日の前日（土日祝日を除く）・当日・・・・・・・・・・受講料の100% 営業日の17:30以降のご連絡は、翌営業日の取り扱いとさせていただきます。
申込み・問合せ先	一般社団法人中部産業連盟 マネジメント研修事業部 小橋川 〒461-8580 名古屋市東区白壁3-12-13 TEL：052-931-9824 e-mail：kohashikawa@chusanren.or.jp

会社名

〒

年 月 日

所在地

TEL

FAX

参加者 所属部課・役職名	参加者氏名(フリガナ)	E-mail アドレス

申込責任者 所属部課・役職名	申込責任者氏名(フリガナ)	E-mail アドレス

会社概要	業種(主要製品名)	資本金	従業員数	今回ご記入いただく個人情報、セミナー等の運営・情報提供(郵便、メール、FAX等)においてのみ使用致します。 詳細は当連盟HP(http://www.chusanren.or.jp/privacy/index.html)をご覧ください。同意のうえ、ご協力をお願い致します。関連情報が不要の場合には下記に①点のご記入をお願い致します。 ☐ セミナーなどの関連情報の案内を希望しない
		百万円	人	
中部産業連盟会員(○印をお付けください)		会員	・ 会員外	